

「マルチステークホルダー方針」

当社は、「化学を礎に、環境と調和した幸せな未来を顧客とともに創造する」ことをその存在意義とし、株主、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとするマルチステークホルダーとの適切な協働に努め、価値創造型企業への転換を図っています。そして、生み出された価値について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、よりよい社会をつくり、経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮のため、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、価値創造型企業に転換し、持続的な成長と付加価値の最大化を成し遂げるため、積極的な人材投資により従業員一人ひとりの能力開発とスキル向上を図り、生産性向上に取り組めます。その上で、生み出した価値については、賃金の引上げに限らない総合的な処遇改善につなげ、エンゲージメント向上に資するよう従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、賞与額を業績と連動した考え方に基づき、納得感のあるかたちで従業員に還元・分配しているほか、複線型人事を採用することにより、特に意欲ある若手社員がより高い目標に挑み、その役割と成果に対しふさわしい処遇を行える体制としました。また、2019年に制定した「人事ポリシー」のもと、2021年度には「人材育成プラットフォーム」を整備しました。これに沿うかたちで、全従業員向けの研修に加え、それぞれのステージで必要とされる能力開発を目的とした階層別研修や、一人ひとりのキャリアプランに合わせた研修を実施するなど、人材開発に向けて積極的に投資を行ってまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2022年1月27日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
[【https://www.biz-partnership.jp/declaration/6663-05-08-tokyo.pdf】](https://www.biz-partnership.jp/declaration/6663-05-08-tokyo.pdf)

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実に進めてまいります。

以上

令和 5年 4月 7日

株式会社トクヤマ

代表取締役 社長執行役員 横田 浩